

●三国鼎時図草稿（唐土歴代州郡沿革図）
（保存修理済）

赤水 73 歳の寛政元（1789）年に作成した中国の時代ごとに地名を入れた地図帳。赤水は「大清広輿図」（赤水が作成した中国図）一枚では描き切れなかった古典に出てくる地名や歴史沿革に関する事項を、歴代王朝ごとに十三枚の折り畳み式地図帳という画期的な形式で発刊しました。本資料は、この三国鼎時図の草稿で、魏・蜀・呉が争った時代の国域図です。

今回の企画展では、本パンフレット掲載資料の他、保存修理後の資料と修理予定の資料等を展示しております。詳細は別置の目録をご覧ください。

資料の保存修理の作業写真



補修紙の補填



旧肌裏紙の除去



表具の新調

今回の企画展は、令和 4 年度までに保存修理が終了した長久保赤水関係資料の一部を紹介しています。今後も保存修理を進めてまいります。これら作業は膨大な時間と費用を要する事業であり、国や茨城県等の協力を得ながら進めていく必要があります。高萩市では、今後も企画展等を通じて修理成果を紹介していくとともに、高萩・日本が誇る先人「長久保赤水」の顕彰事業に取り組んでまいります

本パンフレットは、生涯学習課 田中達仁、高萩市歴史民俗資料館館長 瓦吹堅が作成しました。

高萩市歴史民俗資料館

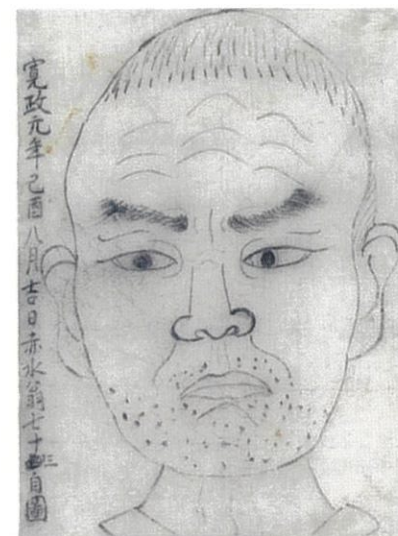
318-0034 高萩市高萩 8-1 0293-23-7229

令和 5 年度 高萩市歴史民俗資料館企画展

重要文化財 長久保赤水関係資料修理事業

一文化財を未来に繋ぐ一

10月21日(土) - 12月10日(日)



●長久保赤水自画像（粉本）

開催にあたって

令和 2 年 9 月 30 日、高萩市が所蔵する長久保赤水関係資料が国の重要文化財に指定されました。これらの資料は、子孫の方々や市民団体、個人収集家等によって大切に保管されていたものであり、現在は高萩市に寄贈されています。重要文化財に指定された資料は「地図・絵図類」84 点、「文書・記録類」279 点、「典籍類」274 点、「書画・器物類」56 点、計 693 点で、赤水の人生や努力の軌跡を知るだけでなく、江戸時代の知識人の交友関係を知る上でも貴重な資料となっています。

しかし、赤水図などの紙資料は、経年に伴う汚損等が散見されるほか、本紙に影響を与える恐れのある補修等が行われているケースが多数見受けられました。高萩市では、郷土の先人の功績を未来に繋いでいくため、令和 3 年度よりこれら資料の保存修理事業に着手しました。保存修理は、文化庁の指導を受けながら、資料の状況によって今後の展示・収蔵に耐えうる手法で行われます。

今回の企画展は、保存修理後の資料の公開と、保存修理作業の一端を紹介するものです。

今後も引き続き、長久保赤水関係資料の保存のための活動や展示公開に、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。